

有毒生物に被害を受けた場合の応急処置

■ハブクラゲ

- ・刺傷部は擦らず、触手はピンセットなどで取り除く
- ・食酢を大量にかける
- ・冷やす
- ・重症の場合は病院へ行く

■カツオノエボシ

- ・残っている触手は海水で洗い流す
- ・冷やす

■オニヒトデ

- ・直ぐに毒を搾り出す（ポイズンリムーバーを使用）
- ・40～45℃のお湯に60～90分ほど浸ける（温湿布も効果有り）
- ・棘を出す（場合によっては切開する）
- ・重症の場合は病院へ行く

■オニダルマオコゼ、ミノカサゴ、ゴンズイ

- ・直ぐに毒を搾り出す
- ・40～45℃のお湯に60～90分ほど浸ける（温湿布も効果有り）
- ・病院へ行く

■ウンバチイソギンチャク

- ・刺傷部は擦らず、触手はピンセットなどで取り除く
- ・冷やす
- ・病院へ行く

■ガンガゼ、ラッパウニ、シラヒゲウニ

- ・40～45℃のお湯に60～90分ほど浸ける（温湿布も効果有り）
- ・棘を抜く

■アンボイナ

- ・刺傷部より心臓に近い場所を縛り、毒矢を取り除き、毒を吸い出す
- ・早急に病院へ行く

■ヒョウモンダコ

- ・噛まれた場所より心臓に近い場所を縛り、毒を吸い出す
- ・早急に病院へ行く

■エイ

- ・裂創で出血が多い場合は圧迫止血
- ・40～45℃のお湯に60～90分ほど浸ける（温湿布も効果有り）

■ウミヘビ

- ・ 噛まれた場所より心臓に近い場所を縛り、毒を吸い出す
- ・ 濃い紅茶や日本茶で傷口を消毒し毒を中和する
- ・ 早急に病院へ行く

■アナサンゴモドキ

- ・ 刺傷部は擦らず、触手があれば取り除く（洗い流す）
- ・ 食酢をかける

■イラモ

- ・ 刺傷部は擦らず、触手があれば取り除く（洗い流す）
- ・ 食酢をかける

処置の内容 ※ラテックスグローブを着用して行う

□触手を取り除く

- ・ 海水で洗い流す（真水は禁止）
- ・ 直接触れないで、ピンセット、粘着テープ、箸などを使用
- ・ タオルや砂で擦らない
- ・ 食酢で白濁した触手を静かに剥す

□搾り出す、吸い出す

- ・ 受傷した直後（水中にいる時）から始める
- ・ 口で吸い出さない
- ・ 毒吸引器（ポイズンリムーバー）を使用

□冷やす

- ・ アイスノンや氷、冷水（袋に入れる）をタオルに包んで当てる
- ・ 冷やし続けないで、時々離す

□温める

- ・ 40～45℃（火傷しない程度）のお湯に60～90分ほど浸ける
- ・ 温湿布は温度が持続するので有効

□食酢をかける

- ・ 食酢は薄めずにかける

□縛る

- ・ 受傷部の心臓側を少し弱めに広く
- ・ 包帯、三角巾、Tシャツ、タオルなどを使用

